

会 議 録

会議の名称	第2回 長瀬町学校のあり方検討委員会
開催日時	令和2年10月14日(水)午後1時30分～午後2時57分
開催場所	長瀬町役場 3階 大会議室
出席者	委員15名 事務局4名
欠席者	委員 1名
会議の内容	1 開会 2 欠席された委員の報告 3 議事 (1) 長瀬町教育委員会からの諮問について (2) 住民からの意見収集の実施について (3) 今後の具体的なスケジュールについて (4) その他 4 事務連絡 5 閉会
会議の公開又は非公開	公開
非公開理由	—
傍聴人の数	0名
発言の内容	別紙「審議内容」のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の望ましい学校教育のあり方について（諮問）写し ・参考資料 小川町のアンケート調査表
事務局	教育総務担当
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
その他の必要事項	

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1 開会 (事務局)

2 委員長あいさつ

3 議事

(1) 長瀬町教育委員会からの諮問について

諮問書を委員長に手渡す。

事務局から説明

委員長) 何かありますか。

特になし

(2) 住民からの意見収集の実施について

事務局から説明

学校のあり方について、具体的な検討を進めていくにあたり、住民の声をどのような方法で意見を収集したらいいか検討をしていただけたらと思います。

委員長) 意見収集について説明がありましたが、こんなふうに考えているというようなご意見等ありましたらお願いします。第1回の会議のあと、地域でこんな意見、または話を聞いたというのがありましたらお願いします。どうでしょうか。

委員) 町内の人等にどんな感じが聞いたところ、反対の人は反対、残した方がいいと言う人もいて賛否両論ある。総合的に判断するのは難しいと思う。今のところ、個人としては、第二小学校を閉鎖して一緒にやってもいいのかなという気持ちを少し思っている。

委員) この会議に出るという話をしたら、地域の人からは、残してもらえたらうれしいなという意見はある。この会議だけではなく、町内全域にアンケートを一回配布して、その結果から詰めていったらいいのかなと思う。

委員) 意見を言う機会を設けるのは難しい。いろいろ知ると統合はやむを得ないのか。最大限、町がどこまでできるのか示してもらわないと、方向性を定められない感じがする。

委員) いろいろ意見はあると思う。一度、住民の方らの意見を集約して、それから進めていくほうが、この会議で進めていくうえでのいい判断材料になる

のではないかと、思う。アンケートを収集し集約していく流れが一番わかりやすいのではと思う。

委員) よりよい教育環境を維持するために、町としては、どういうふうを考えているのかなと思う。子どもを支えるには、人・もの・金が必要だと思う。人口減で、税収も減っている中で教育予算を削減していこうではないか、という観点では、次世代の子どもたちを大切にしていないのかなと思う。学校を一つにしていくとなると、人口減に歯止めがかからないと思う。学校があるから住民も住み続ける。いろいろなものがなくなってくると、町としていつまでやっていけるのか。これからの学校というのは、特色ある学校づくりを進めていく、例えば不登校児を呼んで山村教育ではないけれど、そのような特色ある学校づくりが必要と考える。これからの学校は、子どもが減ってきているからというのではなく考えていく必要がある。予算も確かにかかるが、少なくなってきた子どもを大切に育てる中で、仮に一つにした場合にどこでやったらいいかという問題もでてくる。中学校に集めてということも思うが、住民の意見は第一だと思う。そんなに急がなくてもいいような気がする。

委員長) 将来、子どもを大事にどう育てていくかは課題となっていく。ある町では一つのキャッチフレーズで人口が増えたという話も聞いた。長瀬町も発展するといいと思う。

委員) 何年か前までは、子どもを集中させて効率よく教育する考えだったかと思うが、最近では、子どもを丁寧な支えていくことが重要視されていると感じる。2006年に20人以下の学級が19.7%だったのが、2019年は12.5%。この10年間は、統廃合はそれほど進んでいないと感じる。

委員) 長瀬町として考えたときに関心があると思うのは、二小学区の人たちではないかと思う。それ以外では関心が薄い方もいるのではないかと思う。その中で実際にアンケートをとるとなった時に、どれだけ正しい回答がでるのかということを見ると、どこかの真似をするというのでは取り返しのつかないことになると思うので、慎重に検討していかなければならない。町としてどこまでできるのかをおさえておく必要があると思う。例えば、二小をなくして小中一貫校を新たに作るのであれば二小学区の人にも納得するのではないかと思うが、現実には予算的に難しいと思う。まずは、ここにいる人たちが、いろいろな考えや意見を出し合った方が方向性が見えてくるのではないかと、思っている。

事務局) 町民に意見を聞くにあたり、いろいろ聞き方があると思うが、それぞれの小学校の保護者の方に集まってもらい意見を出していただくことも考えていたが、人が集まる機会を設けるのが難しくなった。委員の皆さんには、例えば、まずは保護者の意見を聞いてほしいとか、幼稚園・保育園の保護者に意見を聞いた方がいいとか、町民のいろいろな意見を聞いてほしいとか、意見を出していただきたいと思う。町の現状をお知らせしていき、各学校の建物についても改修していく必要があるとか、いろいろなことを踏まえて、町民の方にもお伝えして検討していければと思う。

事務局) 意見収集についての話についてですが、小川町のアンケートを参考に配付させていただいています。参考に平成 30 年度に実施した小川町の資料です。データがありましたので、あくまでも参考にさせていただくために提示させていただきました。対象をどこにするのか、町全体に調査するのか、就学する児童の保護者にするのかは、いくつか方法を考えて行っていきたく思いますので、ご意見をお聞かせいただけたらと思います。

委員) コストの面、心情の面とあるので大変難しいが、子どもの数も減っており、子供にとって望ましい教育環境とはどういうものであるべきかを基本に考えて、どのようなアンケート方式がよいか。10 年、20 年後の将来推計があれば資料を提示するのも必要。いきなり統廃合という言葉で始まるのではなく、これから入学を控えている保護者にとっては、人口推移が見えてきてそれを踏まえてアンケートに望むというかたちがいかかかなと思う。

委員長) アンケートを行う場合には慎重にやる必要がある。

委員) 個人的な考えになるが小学校のよさはそれぞれにある。一緒になってよいものになっていく。最終的には統合というかたちになるかと思うが、その時に、距離的にも交通面でも共通の場所に適した規模の新しいものからスタートできると、より新しいよりよい教育ができるのかなと思う。そのためには、場所や予算が必要になってくる。県内には、義務教育学校というのがひとつある。これは小中一貫校ではなく、学校が小学校も中学校もそこにあるという学校です。小中一貫校は同じ場所になくてもいい、教育課程は小学校から中学校へしっかり流れができていくという学校。長瀬で新しいものというと、義務教育学校や小中一貫校といったものを研究して子どもたちのよりよい教育に繋がればいいと思う。

委員) 保護者に聞いた場合は、心情的な部分で回答されるのが多いかなと思う。人口の推移や統合の方法等を町として、ある程度示したうえで聞く方法がい

いと思う。そうしないと冷静な判断ができないのではないかと思う。情動的な意見が回答に反映されてくると思うので、正しい意見が得られないのではない感じがする。

委員長) 他にご意見ありますでしょうか。まだご意見お話しされていない方がおりましたらお願いしたいと思います。

委員) 住民からの意見聴取ということに限ってお話しをしますと、前回、情報がほしいということを伝えましたが、今回アンケートということで限って言うと、アンケートは、まず保護者や幼稚園にと思う。アンケートを収集した時に多数決にならないようにと考える。アンケートの内容は、具体的にあった方がいいと思う。

委員長) 委員会が保護者の意見をくみ取れるような内容がいいのかなと感じました。

事務局) 意見聴取ということになれば、こちらで案は作って委員会でご意見を伺えればと思います。

委員長) 子どもさんのいる家庭から意見を聞いてみるのでよろしいでしょうか。

副委員長) 現実問題として、人が集まって意見聴取するというのはあまりよろしくないということになれば、紙に頼るしかないのかなと思います。

委員長) 色々いい意見をだしていただいたので、少し今後が見えてきたのかなという感じはします。他にはご意見はいかがでしょうか。

委員) 現実問題として、町としては、いつ頃まででやっていけなくなるのか、来年にはやらないとならないのかどうか等、この状態を近々に今年、来年にはどうなっていくのかという辺で、子どもたちの人数等で見えているのかと思うが、郡内でも増えている地域もある。人口減少を食い止めることが何とかできないものかと思う。長瀬はいいところなので町は努力して何とかできないものかと思う。町のコンセプトとして、例えば、長瀬町は子どもに優しい町づくりをしています、とかキャッチフレーズを掲げて、人口が多くなってくれば本当にいいと思う。二小に通っていたが山道を楽しんで通学していた。無くなるのは寂しいので、町がどこまで立ち行くかということになるかと思う。近隣でも分校というところがあるかと思う。

委員長) 三沢小学校は数年で統合になっていくと聞いている。やはり町としてどう考えていくかということになる。

委員) 小川町のアンケートを見ると、これを出した時点で決めているようなも

のですよね。

委員長) 急ぐわけではないけれども、アンケートをとるにしても、子どものいる保護者がどう考えているのか把握していく必要があると思う。

委員) いろんな考え方あると思うが、前回の資料を見ると来年度の入学児童が少ないということで、教員の定員数の関係で複式学級にするか統廃合にするか小中一貫校にするか、選択肢は3つあると思うが、現実問題として、悠長なことは言っていられないと思う。町の予算があれば投入して、教員の加配ということもあるが、町の予算として考えると、なかなか難しいということがある。建物の老朽化も進んでいて建て替えが必要。色々考えると、事務局から提案があったように、アンケートを取らないと間に合わないかなと思う。町民全世帯にとるのも必要かなとも思うが、そういう状況でもないと思う。統廃合、廃校となるとやはり心情的にさみしいとなってしまう。廃校というより、一つに、統合化するというのがいいかなと。人間関係は、かえって二小は6年間一クラスでということになるので、大変じゃないかと思う。統廃合する方がクラス分けできるので、小学生にとってもいいのではないかと思う。小学生のいる保護者と新入生の保護者を対象にアンケートをとるのがいいと思う。

委員) アンケートだが、フジマート付近は新しい住宅が建って人口が増えている。スーパーも学校も駅も近い、立地がいいからという話を聞いた。保護者の中には子どもがたくさんいる方の小学校に行かせたいと言っている方がいた。イベントも多い方が楽しいのではと聞いたことがある。自分の子どもが幼稚園の時に、一小に建てたいとか二小に建てたいとかという話を聞いた。立地が関係していると思う。一小の保護者は、はっきりとはわからないが、自分の子の時代は、合併はいいんじゃないかと思っていた。一小の方が多いので、一小に統合すると思っていた。3支部に住んでいるが、近所も新築が増えた。3支部だけで二小の全校生徒と同じくらい人数がいた。通学班も人数が多い。

委員長) そういう話はなかなか聞けない。

委員) 二小としては、二小学区の人には、一小には行かないと思う。通うにしても中学校までを考えていると思う。

委員) 一小と二小が統廃合というのも、一小のところに吸収してしまうのではなくて、中学校の区域内に別棟を建てる。新しく建てる方が将来的にも、建設費用面でもトータル的には安くなると思うが。一小に統合されてしまうと

二小が無くなる、そうすると寂しいという意見が出る。新設したのではどうでしょうかね。小中一貫ということでもなくとも、と思います。

委員長) アンケートの内容についても考えていかなければならない。まずは、小中学校の保護者と新入学児童の保護者にアンケートをとってみて、どんな意見がでてくるかと思う。一回事務局から案を出してもらいたいと思いますが、事務局どうでしょうか。

事務局) みなさんからご意見いただいて、委員長が話されていたように小中学生がいる保護者、未就学児のいる世帯に一回アンケートを実施する。内容は、事務局の方で案を示して、次回、検討をしていただくという流れになると思いますが、それでよろしいでしょうか。

委員長) 今年度中にアンケートは実施できますよね。

事務局) スケジュールはこのあと話をさせていただければと思います。

委員長) この件については皆さんよろしいでしょうか。

特になし

委員長) それでは、終了にさせていただきたいと思います。

(3) 今後の具体的なスケジュールについて

委員長) 最後の議事について、事務局から、今後のスケジュールについてお願いいたします。

事務局から説明

本委員会の今後スケジュールについて提案いたします。委員委嘱の任期については、長瀬町学校のあり方検討委員会の設置条例第4条に、委員の任期は、委嘱の日から第2条の規定による答申を終える日までとすると、定められております。具体的な期間ではなく、本日、教育委員会から受けた諮問に対して、答申を終える日までとなっておりますが、事務局としましては、令和3年度中を目途に答申できるよう進めてまいりたいと思います。ご検討をお願いいたします。次に直近のスケジュールについてですが、意見収集の方法等についてご検討をいただき、アンケートの実施がよいのではないかとご意見が出されております。次回はアンケートの実施にあたり、アンケート実施のために必要な客観的なデータ資料を収集し、事務局で準備し全員で共有してまいりたいと思っております。前回、人口推移等の資料は出していますが、希望される資料等がありましたら、必要なデータ・資料についても、ご意見を出していただけると助かります。アンケートの実施につきまして

は、次回、検討できれば今年度中に実施ができるかもしれません。スケジュールについてもご検討いただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

委員長) 令和3年度中に任期につきましては、答申が終わるまでということになります。アンケートの実施により内容を検討する。次回の時はこのような感じというのを何か出していただけるのでしょうか。

事務局) 案はお示ししたいと考えています。心情的なものにならないようにという内容を出していただきましたが、このようなものがあつたらいいというご意見がありましたら、お願いいたします。

副委員長) お金の話はつけてほしいと思う。

委員) 児童の意見、考え方、町の財政、教育委員会に関わらず、判断材料となるような情報が次回ほしいと思っている。

事務局) 前回、各学校の児童の推移数は出ささせていただきましたが、教育費、各学校施設管理費の推移、各学校施設の耐用年数、建て替えした場合の費用の試算、長寿命化した場合の費用、子どもに関わる部分として複式学級によるメリット・デメリット、子どもにかかる教育課程の内容、保護者が負担している費用（児童生徒数によって負担の格差ありますので）、費用の比較等について提示できたらと考えています。もしご希望があるようでしたらご意見をいただき作っていただけるとと思います。お願いいたします。

委員) 地域で子供を育てていくことを考えると、公民館等施設の老朽化など学校をとりまく状況も考えていかないといけないのかなと思う。

委員長) 他にはどうでしょうか。よろしいでしょうか。なければ次に進めさせていただきます。

(4) その他

委員長) 他になにかありますか。よろしいでしょうか。少し方向性も見えてきた気がします。皆さま、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。

4. 事務連絡

事務局から説明

ありがとうございました。今後事務局でまとめさせていただき資料等を用意して提示したいと思います。次回の検討委員会の日程になりますが、12月

に第3回を調整したいと考えています。半ばくらいにと考えていますのでご承知おきいただければと思います。また日程について通知させていただきますのでご出席いただきますようお願いいたします。以上です。

5. 閉会（事務局）